

大項目

中項目

小項目 (例示)

- |                         |                                   |
|-------------------------|-----------------------------------|
| 2) 面接法                  | ・自由面接法、構造化面接、半構造化面接<br>・その他       |
| 3) 質的調査における記録の方法と留意点    |                                   |
| 4) 質的調査のデータの整理と分析       | ・調査結果の図表化、グラフソフトやリーアラプローチ<br>・その他 |
| 7) 社会調査の実施に当たってのITの活用方法 | 1) 社会調査の実施に当たってのITの活用方法           |

## 傾向

社会調査とは、社会的現象について、直接データを収集、集計・分析をすることである。社会福祉における調査の目的は、社会福祉の実態（現状およびニーズ）を把握し、対応するサービスや方策の問題を明らかにすることによって、問題解決や実践活動の改善のための資料を提供することである。したがって、社会調査は社会福祉士にとって不可欠な知識と技法であるといえよう。

第34回試験では、7問が出題された。以下、出題基準の項目に沿って分析する。

### 1 社会調査の意義と目的

第31回と第32回には社会調査の種類と意義、第33回には政府が行う社会調査の対象が出題された。

### 2 統計法

第30回には現行の統計法に関して基本的な知識を求める問題、第32回には2007（平成19）年の統計法改正に関する問題が出題された。

### 3 社会調査における倫理

第33回には主に「社会調査協会の倫理規程」から社会調査の倫理に関する出題があった。第34回には社会調査の倫理と個人情報保護に関する問題が1問出題された。

第30回(2018年)

第31回(2019年)

第32回(2020年)

第33回(2021年)

第34回(2022年)

- |            |                        |                   |
|------------|------------------------|-------------------|
| ・質的調査 [90] | ・面接法 [89]              | ・面接法 [90]         |
|            | ・質的調査の記録やデータの収集方法 [90] |                   |
| ・質的調査 [90] | ・質的調査の記録やデータの収集方法 [90] | ・調査の情報の整理と分析 [90] |

### 4 社会調査における個人情報保護

第30回には社会調査で得られたデータの公表、管理、匿名化などに関する問題が出題された。第34回には同様の個人情報保護に関する内容が社会調査の倫理とともに出題された。

### 5 量的調査の方法

この項目からは毎回3～4問程度出題されており、近年では基本的な知識が求められる問題が多い。特に、質問紙の作成、質問紙を用いる調査方法として訪問面接調査、留置調査（配票調査）、郵送調査などの特徴、量的調査の集計・分析などが繰り返し出題されている。

第34回には横断調査と縦断調査、質問紙調査、調査票の回収後の手続、集計結果として中央値や最頻値、分散、範囲などに関する4問が出題された。

### 6 質的調査の方法

この項目からは毎回2問程度出題されており、観察法や面接法、質的調査の整理・分析などに関する問題が多い。

第34回もこれまでの傾向と同様に、観察法と面接法に関する2問が出題された。

### 7 社会調査の実施に当たってのITの活用方法

この項目からは第30回以降出題されていない。